

6 第2期基本計画総括評価 分野別評価シート

《評価シートの見方》

基本計画の目標	第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画に掲げる政策・施策分野ごとに、各分野の目標を記載しています。	
目標指標：市民意識調査による市民の満足度	各分野のめざすべきまちの姿の実現状況に関して、市民が実感している割合について、基本計画策定時の当初値、平成22・27年度目標値、平成18年度以降の指標の推移を記載しています。	
6年間の取組の評価	第2期基本計画期間の“めざすべきまちの姿”に対する取組について、担当部の自己評価を記載しています。	
今後の方向性	第2期基本計画期間の“めざすべきまちの姿”の実現に向けた今後の方向性について、担当部が記載しています。	
鎌倉市民評価委員会の評価	この分野の6年間の取組の進捗状況・取組のあり方に関する意見	<p>担当部による内部評価を踏まえ、“めざすべきまちの姿”に対する行政の取組についての意見、及び、その評価を記載しています。</p> <p>また、評価結果を、「◎：きわめて優れていた」、「○：十分であった」、「△：不十分であった」に区分し、評価委員会の評価として示すとともに、その内訳として、それぞれの評価結果ごとに、評価した委員数を記載しています。</p> <p>なお、評価委員会の評価は、内訳で最も多い評価結果としています。（なお、内訳が4ずつで同数となった場合には、良い評価結果を評価委員会の評価としています。）</p>
	将来のまちづくりの展望に向けたこの分野に関する意見	“めざすべきまちの姿”の実現に向け、今後取り組むべき内容について記載しています。
	この分野に関する総括意見	「この分野の6年間の取組の進捗状況・取組のあり方に関する意見」「将来のまちづくりの展望に向けたこの分野に関する意見」（以下「上記2項目」という。）以外の当該分野に関する意見や、上記2項目を踏まえた当該分野に関する総括意見を記載しています。